

その他の再エネ導入に係る取組について

●民間提案制度の活用

「かめおか脱炭素宣言」に基づく2050年カーボンニュートラルの達成に向け、令和5年2月に「かめおか脱炭素未来プラン」を策定しました。

本計画が掲げる将来像である「経済循環型ゼロカーボン亀岡」を実現するため、先進的な知見や技術を有する民間事業者などからの事業提案を募集、3事業を採用し取り組みを進めています。

1 年谷浄化センターエネルギー拠点化に向けた検討

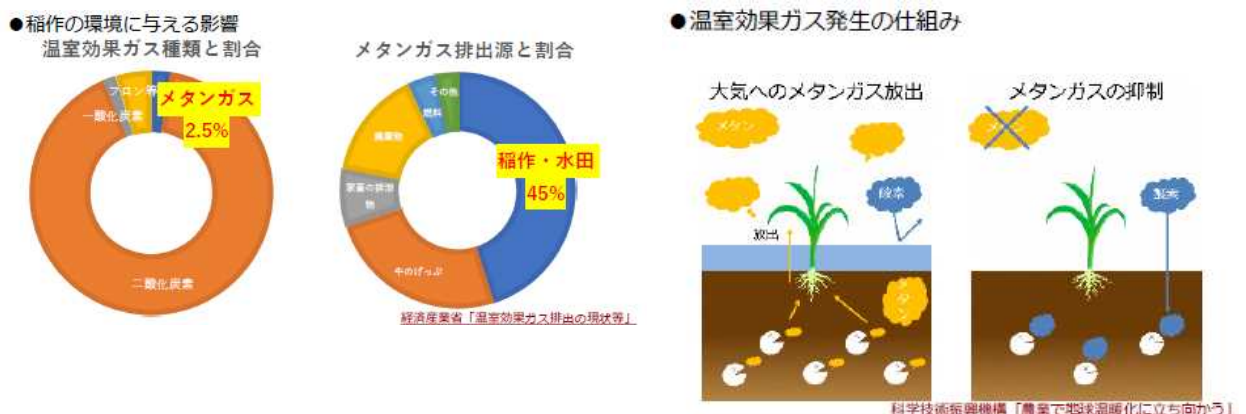
下水や生ごみなど未利用な地域資源の活用。年谷浄化センターへの生ごみ・し尿の受け入れによる発電、汚泥の燃料化・熱利用に向け、関係部署と事業性の確認などの検討を進めています。

2 EV車普及促進への貢献を目指したEV充電インフラ拡充

EV充電インフラの拡充のため、市有地へのEV充電器の設置を展開。市役所本庁舎駐車場、運動公園・さくら体育館駐車場等の公共用地において、充電装置の設置に向けた準備を進めています。

3 水稻栽培における中干し延長によるJ-クレジット創出

水稻栽培の過程で水田より水を抜く中干し期間を延長することで、メタンガス排出量の削減を行いカーボンクレジット化を目指します。生産者は生成されたクレジットの販売で収益化を目指します。申込者3件（令和6年7月現在）



中干し期間を、その水田の直近2か年以上の実施日数の平均より7日間以上延長し、その旨を証明する生産管理記録等を揃え、代行業者に提出。第三者機関の審査を受けた後、制度事務局に申請を行います。

水田の所在地域・排水性・施用有機物量（稲わら・堆肥）に応じた排出削減量（CO₂相当）を「クレジット」として認定。「クレジット」を販売すれば、価格に応じた収益が得られます。

●公共施設への太陽光パネル設置の推進

令和5年度稼働

- ・上下水道部本庁舎

令和6年度以降設置

- ・環境プロモーションセンター
- ・保津保育所
- ・防災倉庫（吉川町）
- ・市役所本庁舎駐車場（ソーラーカーポート）



上下水道部本庁舎